

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

● NCC オンコパネルシステム

(依頼コード No.77404)

受託開始日 2019年8月13日(火) 受付分より

NCCオンコパネルシステムは、日本人のがんで多く変異が見られる遺伝子114個を対象に次世代シーケンサー(NGS法)を原理とする「OncoGuide™ NCCオンコパネルシステム」を用いて、包括的ながんゲノムプロファイルを取得する検査です。

本検査は、がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療連携病院及びそれに準ずる医療機関として指定を受けている保険医療機関で実施することができます。固形がんを解析対象とした腫瘍組織の包括的ながんゲノムプロファイルを取得することで、被検者のがん固有の遺伝子異常を解析し、正確な診断や抗がん剤の選定など治療方針決定に有用な情報を提供します。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book

Google play

Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis
Medical Station

受託要領

| | |
|------------------|---|
| セットコードNo. | 77404 |
| 検査項目名 (セット内容) | NCCオンコパネルシステムセット 13254 NCCオンコパネル抽出 13255 NCCオンコパネル解析 |
| 検体必要量 | ①未染スライド 5枚(10 μ m厚)または10枚(5 μ m厚) ②血液 2mL (必ず①と②を併せてご提出ください。) |
| 容器 | 血液 : B-30(EDTA2K) |
| 検体の保存方法 | スライド : 室温 血液 : 凍結 |
| 所要日数 | 23~34 |
| 検査方法 | 次世代シーケンス(NGS)法 |
| 基準値 | なし |
| 単位 | なし |
| 保険点数 | 56,000点 特定保険医療材料としては設定せず、新規技術料にて評価する。 ・包括的ゲノムプロファイル取得のための本品検査(パネル検査)実施に係る準用技術(パネル検査実施料) 8,000点 ・パネル検査の結果の判断及び説明等の実施に係る準用技術(パネル検査判断・説明料) 48,000点 |
| 検査委託先 | 株式会社 理研ジェネシス |

※NCCオンコパネル検査受託に際しましては、OncoGuideポータルでの契約など事前手続きが必要となります。

検体提出時の注意事項

- 専用依頼書を準備しておりますので必ずご使用ください。また、必要事項を漏れなく記載してください。
- ご依頼の際には、検体2種類(未染スライドと血液)と共に依頼書とC-CAT IDリストを併せてご提出ください。
- 受託可能曜日：月～金(休祝日とその前日は不可)
- 同種造血幹細胞移植歴または臓器移植歴のある方は本検査を実施することができないことをご了承ください。
- 腫瘍細胞含有率の情報が必要となりますので、必ず依頼書に記入してください。
- 未染スライドの組織に腫瘍細胞が20%以上含まれていることをご確認の上、ご提出ください。腫瘍細胞含有率が20%に満たない場合にはマクロダイセクションの実施が必要となります。その際は、全ての未染スライドの裏面に、腫瘍部分を囲うようにマーキングをお願いいたします。なお、マクロダイセクションを実施する際は、マーキング内の腫瘍細胞含有率を記入してください。
- 3年以内に作製されたホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)ブロックより作製した未染スライドの提出を推奨します。
- 1スライドあたり16mm²程度の組織をご提出ください。
- ホルマリン固定検体では、固定条件(固定液の種類や組成、固定時間、固定後の検体の保存状態など)によっては核酸の断片化が起こり解析不能となる可能性があります。検体の取り扱いに関しましては各種ガイドラインなどを参照してください。
<推奨される固定条件>
・ホルマリン：10%中性緩衝ホルマリン
・固定時間：手術検体 18~36時間、生検検体：4~24時間
- 切片作製時の別検体からのコンタミネーションを避けるため、以下の作業を行ってください。
・検体毎にミクロトームブレードを交換してください。
・ウォーターバスは検体毎に洗浄してください。
・手袋は頻繁に交換してください。
- 本検査は核酸抽出から解析までを一連の検査として実施するため、核酸の濃度不足などで検査実施が困難な場合や解析不能となった場合でも所定の検査費用が発生することを予めご了承ください。

【参考文献】

Kato M. et al.: Genome Med 10, 44, 2018.

Tanabe Y. et al.: Molecular Cancer 15, 73, 2016.